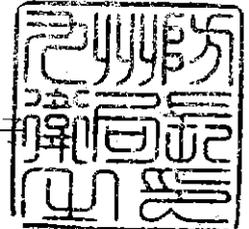


九防企地第8006号  
令和2年10月22日

宮崎県知事 河野 俊嗣 殿  
航空自衛隊新田原基地周辺協議会会長 新富町長 小嶋 崇嗣 殿

九州防衛局長 廣瀬 律子



新田原基地における訓練移転に係る新型コロナウイルス感染症対策及び安全対策等について

宮崎県始め航空自衛隊新田原基地周辺協議会の皆様におかれましては、日頃より、新田原基地の運用及び防衛行政に対しご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、訓練移転における米軍の宿泊につきましては、新型コロナウイルス感染予防の観点から、ソーシャルディスタンスの確保や基地内隊舎を隔離施設として使用する考えから、基地外での宿泊を予定していたところ、10月12日、河野知事が大西政務官に対し基地内の宿泊を要請されたことを受け、米軍人全員の宿泊先を基地内とするよう米軍に対し要請を行ったものの、米軍人に対して新型コロナウイルス感染症対策について厳しい措置を行っているなどを米軍から回答を受け、宿泊を実現するに至りませんでした。さらに、10月18日に、河野知事及び宮崎県保健当局が基地内隊舎各室を視察された際は、宮崎県保健当局からソーシャルディスタンスを確保した場合は70人程度の収容となる見込みであるとのことをご意見をいただいております。特に、一部の隊員の宿泊について、再度、米側に要請したところですが、基地内の宿泊を実現するに至りませんでした。今後の訓練につきましては、新型コロナウイルスの感染状況によりますが、基地の中で宿泊すべく米側と調整したいと考えています

今回の米軍人の宿泊先を基地内の宿泊施設にできなかった件につきましては、地元の皆様の多大なるご心配、ご懸念があることは十分に承知しております。九州防衛局としましては、地元の皆様のご心配、ご懸念について、少しでも解消するよう取り組んでいきたいと考えております。

具体的には、1日あたり約30名の九州防衛局職員を現地に派遣し、宮崎市内に連絡所を設置の上、職員を24時間体制で配置し、ホテル周辺や市街地を重点的に徒歩にて巡回を行うとともに、ホテルから新田原基地までの通勤ルートを車両にて巡回を行います。巡

回にあたっては通学路や宮崎市におけるイベントを踏まえて対応致します。さらには、米軍に対して、事故の発生が高い地点や推奨する通勤ルート等を示した運転に際しての注意事項をまとめた英語の地図を手渡しており、推奨ルートの走行によって交通安全が確保され则认为しています。

また、すでに米軍に対し、厳正な服務規律の徹底、不要不急の外出を控えるなどの要請を行ったところですが、できる限り不要不急の外出を避けるため、食事についてデリバリーサービス、コンビニエンスストア、ホテル内のレストランの利用によりホテルの自室での食事をとるよう米側に周知しております。さらには、ニシタチまちづくり協同組合様との連携を考えており、是非、地元の皆様と協議をさせていただきつつ、デリバリーサービスの充実を図ってまいります。

新型コロナウイルス感染症対策については、米軍・自衛隊の双方において所要の医療・衛生体制を構築するとともに、地元の保健当局とも緊密な情報共有態勢を構築してまいります。宮崎県における新型コロナ感染状況、宮崎県、宮崎市の保健当局からのご提言も踏まえつつ、人との接触を最小限にするよう、米軍に対しても常に注意喚起を行ってまいります。また、宮崎県からご提案いただきました到着後にPCR検査を行うことにつきましては、防衛本省及び現地レベルで米軍に要請を行っているところです。

繰り返しになりますが、訓練の実施に当たりましては、地元の皆様のご心配、ご懸念について、少しでも解消することが重要と考えております。地元自治体と緊密に連携しつつ、米側ともしっかり調整しながら、新型コロナウイルス感染症対策、事件・事故対策、騒音対策に取り組み、そして、速やかな情報提供に努めて参りますので何とぞご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

以 上